



第9

海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

紀州さんぽ散珠つなぎ

新宮支部

串本支部

田辺支部

日高支部

———「名所には熊野三山があり、冬は温泉、夏は川遊び、春、秋には山登りと自然豊かな地方です。」———

海草支部をスタートに今回最終地点新宮にゴール致しました。

そこで新宮地方をご案内させていただきます。

冬は温泉、夏は川遊び、春、秋には山登りと自然豊かな地方です。

新宮支部も年間行事として、秋には山登りを行っております。

名所には紀伊国熊野に鎮座する「熊野速玉大社」「熊野本宮大社」「熊野那智大社」があり、この三大社を熊野三山と呼び、「熊野三所権現」とも称されています。

熊野速玉大社は熊野川西岸の河口近くにあり、昔は新宮神社と呼ばれていました。後に社殿を現在の地に移し、熊野信仰の興隆にともなって次々と諸神を追加して、平安時代には十二社殿並び建つ今日のような形式が定着したようです。

新宮の近くには多くの温泉があります。湯の峰温泉、渡瀬温泉、川湯温泉、勝浦温泉等があり、いずれも新宮駅より車で約30分程度で行ける範囲にあります。

新宮市内には高田グリーンランドの中に雲取温泉があります。高田川畔に湧く温泉で、岩組みされた露天風呂にあふれる青みがかった薄乳白色のお湯はアルカリ単純泉で肌ざわりがなめらか。また、温泉に薬液を加えて効能を高めた薬草風呂(キハダ風呂と徐福伝説で有名な天台烏薬風呂)もあり、こちらは胃腸や内臓疾患などに効能があるといわれています。その他に、さつき温泉などもあります。

新宮地域にはおいしいものも多く、特産物に「めはり寿司」「鮎のなれ寿司」「さんま寿司」などがあり、特にめはり寿司は有名で、一枚の高菜の漬物にくるまれた大きなにぎり飯。あまりの大きさに目を見張るようにして食べたところから「めはり寿司」の名前がついたそうです。もともとは山仕事の昼食だったとも言われ、素朴だが青空の下がよく合う郷土食で、新宮市の名物ずしとしてサンマずしと並び人気があります。

行事では神倉神社のお灯祭が有名で、2月6日、千数百人の男達が、松明をもって約540段の石段を一気に駆け下り、火の奔流が駆け抜ける様子は、火を吐く竜に似て、豪快そのもので県指定無形民俗文化財になっています。また他にも熊野那智大社の「那智の火祭り」、熊野速玉大社の「扇立祭り」、(いずれも7月14日)など有名な祭りが行われています。

(写真、文章の一部は、「和歌山遺産」、「和歌山県文化財ガイドブック」から引用させていただきました。)



熊野速玉大社



雲取温泉



めはり寿司



お灯祭り